



2026年2月13日

各 位

会 社 名 G - F A C T O R Y 株 式 会 社
代表者名 代 表 取 締 役 社 長 片 平 雅 之
(コード: 3474 東証グロース)
問 合 せ 先 専 務 取 締 役 管 理 本 部 長 田 口 由 香 子
(TEL. 03-5325-6868)

特別損失の計上及び通期業績予想と実績値との差異に関するお知らせ

当社グループは、2025年12月期第4四半期連結会計期間（2025年10月1日～2025年12月31日）において、下記の通り特別損失を計上するとともに、2025年2月14日に公表いたしました2025年12月期（2025年1月1日～2025年12月31日）の通期連結業績予想と実績に差異が生じましたので、お知らせいたします。

記

1. 特別損失（減損損失）について

営業活動から生じる損益が継続してマイナスである事業及び店舗について今後も収益改善の可能性が低いと判断した部分について、当該資産グループの帳簿価額を回収可能価額まで減額し、減損損失を計上いたしました。

これに伴い、2025年12月期第4四半期連結会計期間（2025年10月1日～2025年12月31日）において、減損損失108百万円を特別損失に計上いたしました。

2. 業績予想と実績値との差異について

（1）2025年12月期（2025年1月1日～2025年12月31日）通期連結業績予想と実績の差異

（単位：百万円）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
前回発表予想（A）	6560	34	32	△58	△9.00
今回実績（B）	6465	△71	△92	△251	△38.57
増減額（B-A）	△94	△105	△124	△194	△29.57
増減率（%）	1.6	-	-	-	-
（ご参考）前期実績 (2024年12月期)	6,348	△20	17	△332	△51.24

(2) 差異の理由

① 営業利益について

経営サポート事業における出退店サポートの積み上げにより売上総利益は増加したもの、期初予想を下回る結果となりました。

これは主に、飲食事業において不採算店舗の整理を断行したことにより国内直営店舗数が減少し、売上総利益が減少したことに加え、中長期的な収益最大化に向けた先行投資として、人的資本投資（賃上げ・採用・社宅制度等）や、新たなサービス（GF Card、GF Mobile、GF Estate 等）の立ち上げに係る費用を計上したことによるものです。

② 経常利益について

営業利益の減少に加え、前期に為替差益を計上していたことに対し、当期は為替差損（29百万円）を計上したことなど、外部要因の影響により、期初予想を下回る結果となりました。

③ 親会社株主に帰属する当期純利益について

営業利益および経常利益の減少に加え、1. に記載のとおり、不採算店舗の収益性見直しに伴う減損損失（108百万円）を計上したことにより、期初予想を下回る結果となりました。

以上